



市議会ホームページ
QRコード

平成31年度一般会計・特別会計 予算を賛成多数で可決

主な内容について

- 平成31年第1回定例会を2月22日から3月25日まで32日間の会期で開催
⇒ 各委員会における質疑等【要旨】
2面～3面
- 市長の施政方針に対する各会派等による代表質問を日曜議会で実施
⇒ 代表質問での質問・答弁【要旨】
4面～6面
- 予算特別委員会を3月8日から18日までの7日間（土・日除く）開催
⇒ 一般会計予算議案に対する討論【要旨】
7面～9面
- 市長提出議案26件を議決
⇒ 第1回定例会議案審議結果 10面

提案議案等 を問う

平成31年 第1回定例会 各委員会における質疑等【要旨】

各議案等の要旨や結果は、10面をご覧ください。

予算特別委員会

【議案の審査】

■議案第1号 平成31年度国分寺市一般会計予算

○財政フレーム等にかかる主な質疑

Q 庁舎建設工事費等がフレームに組み込まれていないが、来年度以降、財政的に厳しくなるのでは。

A 基金もしっかり積み立てている状況。額が明らかになった段階でフレームに組み込む予定。

Q 人口減少社会を回避するための対応とは何か。

A 子育てしやすい環境や子どもを産みやすい環境等を整備して魅力あるまちにすることで本市に人を呼び込むものである。

○歳入にかかる主な質疑

Q 個人市民税は前年度比で4億8,336万8千円増だが、納税義務者増と雇用・所得環境が堅調なことからの所得の伸びを要因とした増額か。

A 1人あたり所得は年間で1万8千円の増を見込んでいるが、納税義務者増や所得の伸びの他にも分離譲渡所得や過年度分等も見込んで算出している。

○歳出にかかる主な質疑

Q 庁舎建設の場所について、市長の表明があるまでの間に市民参加の機会を設けないのか。

A 明確なスケジュールは立てていないが、市民のご意見を聴く場は設けていく。

Q 「はいかい高齢者個人賠償責任保険」は、新規の重要な取り組みだ。年齢要件や開始時期は。

A 現時点で40歳以上の方を想定。保険会社の選定等があるため開始時期は夏頃を予定している。

Q 障害者の移動支援にかかるガイドヘルパーの報酬改定が予算化されているが、内容は。

A 最初の2時間は1時間あたり2,600円に改定。以降は従前どおり1時間あたり2,100円とする。他市比較でかなり上位の設定だ。

Q B6サイズに変更する子ども専用相談電話用カードの発行とフリーダイヤル化の時期は、学校の夏休み前を目途に進めて欲しい。

A まずフリーダイヤル化し、同時に広報できるよう、なるべく早く取り組む。

Q 保育の無償化に伴って待機児童の増加が考えられるが、その対策は。

A 31年度に2園を整備し、定員は100名の計画だが、さらに増えるようであれば、新園の誘致・整備が根本的な解決策と考えている。

Q 突然の休園・廃園などがある民間保育施設の非常時の受け皿として、公立保育園を複数維持すべきだ。

A 次のしんまち保育園の民営化も着実に進めたい。早い段階で議案提案等情報提供し、色々ご意見をいただきながら進める。

Q ぶんバスの発着点に屋根・椅子の設置をお願いしている。

A 今回は、国分寺駅北口の交通広場で不要となるバス停の上屋を西国分寺駅の交通広場内に移設することを考えている。

Q 都市計画道路国3・2・8号線の進捗状況は。

A 国3・4・6号線から市役所通り手前まで下水道工事を完了。また西武国分寺線のアンダーパス部分の工事を引き続き行っている。31年度は市役所通りから北側部分の下水道工事、アンダーパス部分は擁壁工事を実施する予定。

Q 学校体育館のエアコン設置についてPTA連合会等からの要望は出ているか。

A 子どもたちの健康面を考慮して設置して欲しい、空調設置が難しい場合、網戸の設置をお願いしたいと要望をいただいている。

■議案第2号 平成31年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算

Q 国分寺駅再開発事業を円滑に進めることが大切だが、人件費は平成31年度をもってなくすということか。方向性について見解を。

A その方向で準備を進めている。

■議案第3号 平成31年度国分寺市国民健康保険特別会計予算

Q 国保税は若くて低収入の世帯ほど滞納になっているのではないか。

A 資料からそのように見えるが、低所得者対策として軽減策がある。一概に低所得で若い人が全て滞納になっているとは考えにくい。

■議案第4号 平成31年度国分寺市介護保険特別会計予算

Q 医師会に委託していた在宅医療・介護連携事業を31年度になぜ市直営とするのか。

A 事業を見直すためである。医師会には引き続きご協力いただきたい。

■議案第5号 平成31年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算

Q 国分寺市における給付費増の要因をどのように捉えているか。

A 高齢者の場合、長い間医者に通わなければいけないこと等から医療費が増となるのが伸びの原因と考えている。

■議案第6号 平成31年度国分寺市下水道事業特別会計予算

Q 消費税の増額が予定されているが、市民の負担を増やさないよう下水道料金本体を減額する検討をしたか。

A 特に行っていない。



予算特別委員会の様子

総務委員会

【議案の審査】

■議案第14号 国分寺市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 地方公務員安全衛生推進協会への職員派遣の理由は。

A 市に協会の職場環境改善アドバイザーを招いたことがきっかけで、協会から職員の派遣依頼があった。

■議案第15号 国分寺市印鑑条例の一部を改正する条例について

Q 印鑑事務のシステム改修に向けた条例改正ということか。

A お見込みのとおり。

Q 性別の記載欄の削除について、規則や要綱の改正状況は。

A 全庁的に4月1日施行で対応していく。

■議案第21号 工事請負契約について

Q けやき運動場の人工芝化をなぜこのタイミングで行うのか。

A 施設の老朽化に加え、東京都が進めている東京オリンピック・パラリンピックの補助金を最大限活用するため。

Q 改修後の利用開始の日程は決まっているのか。

A 来年3月からの利用開始を検討中。市民へ早めに情報提供を行う。

【調査】

■行政改革について

・ICTツールを活用した更なる業務の効率化について

Q 二重投資にならないよう先事例の研究を。

A 検証をしっかり行い、効率化につながるもののみ導入したい。

【報告事項】

・会計年度任用職員制度について

・ハザードマップについて など



けやき運動場

厚生委員会

【議案の審査】

■議案第10号 平成30年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

Q 保険者努力支援分と特別調整交付金の組み替え理由は。

A 保険者努力支援交付金の一部が特別調整交付金として交付されるため、当該部分について歳入予算の組み替えをするものである。

■議案第11号 平成30年度国分寺市介護保険特別会計補正予算（第3号）

Q 保険者機能強化推進交付金の地域包括支援センター運営に要する経費への充当理由は。

A 保険者の機能を強化するという交付金の趣旨に基づいて、当該事業に充当している。

Q 市と事業者が連携を深めて、同じ目標を共有していく必要があると考えるが、市の見解は。

A 引き続き、事業者に対して、必要な支援や指導、研修等の取り組みを進めていく。

その他、議案第12号 平成30年度国分寺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）、外2件の採決を行った。

【調査】

■地域福祉計画について

・地域福祉コーディネーターの配置について

Q 地域福祉コーディネーターの職員配置等は。

A ボランティア活動センターこくぶんじに、社会福祉協議会の正規職員を2人配置予定。

【報告事項】

・後期高齢者医療保険料軽減特例の見直しについて

・国による風しん予防接種の追加対策について



ボランティア活動センターこくぶんじ

建設環境委員会

【議案の審査】

■議案第13号 平成30年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算（第3号）

Q JRの敷地内より発生している湧水を姿見の池に送水している現状は。

A 地下より湧水をポンプでくみ上げて姿見の池に送水しており、送水しきれず下水道に流れる分について料金を徴収している。

Q 下水道人口普及率が99.9%から100%にならない理由は。

A 都道の整備状況により完了できていない。

■議案第19号 国分寺市有料自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について（国分寺駅北口地下自転車駐車場）

Q 駐輪場の台数が、臨時分を含めて合計3,066台で大丈夫か。

A 指定管理者からの毎日の利用状況データを分析し、十分に賄えると考えている。

その他、議案第22号 工事請負契約の一部変更について、外1件の採決を行った。

【調査】

■都市計画マスタープランに掲げる土地利用計画の見直しについて

・国分寺駅北口エリア、史跡武蔵国分寺跡周辺エリアについて

Q 都市計画素案説明会で、史跡武蔵国分寺跡周辺エリアにおける建築物等の形態又は色彩その他、意匠について、ご意見があるが市の考えは。

A 現在、具体的な基準がない。今後検討が必要。

【報告事項】

・第四次国分寺市地球温暖化防止行動計画（市役所版）【案】について など



臨時自転車駐車場

文教子ども委員会

【議案の審査】

■議案第18号 国分寺市児童育成手当条例の一部を改正する条例について

Q 児童育成手当は、基本的にひとり親家庭が対象の手当と思うが、なぜ同一生計配偶者が関係するのか。

A 児童の父または母が重度の障害を有する場合も対象となるため。

■議案第24号 指定管理者の指定について（国分寺市プレイステーション）

Q 委託料の常勤職員給与について、待遇改善は図らないのか。

A 平成30年度に年間76,800円増額している。なお、他の同種の事業者の平均等を見ても低くない。

Q プレイステーションの特徴的な活動である火の体験の現状は。

A 土曜日と日曜日に行っている。

【調査】

■子育て・子育ていきいき計画について

・平成29年度子ども・子育て支援事業計画実績値について

Q 一時預かり事業について、ニーズに答えきれていないのでは。

A ご指摘のとおり受け入れが足りてない。今後、事業者への相談や子ども家庭部内で調整する。

Q 市内にある企業主導型保育施設は。

A 従業員の子どものみを対象とした保育所が1カ所ある。

【報告事項】

・平成30年度第2回総合教育会議について
・国分寺市立学校における働き方改革推進プランの策定について
・民設民営保育所誘致事業について
・平成31年度認可保育所入所申込み状況について



国分寺市プレイステーション

国分寺駅周辺整備特別委員会

【議案の審査】

■議案第9号 平成30年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第2号）

Q 歳出の公共施設の整備に要する経費の減額に伴って、歳入の市債や国庫補助金を減額するのか。

A 公共施設の整備に要する経費が減額となり、市債を借りる必要がなくなったため。また、国の補助金の交付要領が変更になったため。

Q 交通広場内の整備工事の進捗状況は。

A 国分寺駅北口地下自転車駐車場の地上部の工事を行うため、その工事の遅延の影響について、現在、精査を行っている。

【報告事項】

・（仮称）国分寺駅北口地下自転車駐車場整備工事（議案第22号 工

事請負契約の一部変更）について

Q 地下の残存物の対応について、今後の工期の見通しは。

A 今後、地中障害物等の影響による遅延は考えにくい。

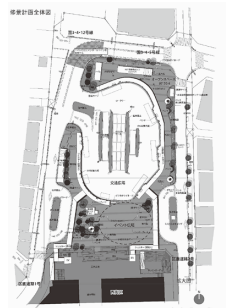
・自転車駐車場の使用料（議案第19号 国分寺市有料自転車等駐車場条例の一部を改正する条例）について

Q 国分寺駅北口地下自転車駐車場において、2時間以内の使用が無料になることについて、交通安全対策協議会に諮問しているか。

A 諮問はしていないが、その運用については、市長決裁で決定し、庁議に報告をしている。

その他 ・国分寺駅北口周辺エリアのまちづくりの検討状況について

・再開発事業の進捗及び交通広場修景計画の説明会について



国分寺駅北口交通広場全体図

公共施設等総合管理特別委員会

【報告事項】

・公共施設等マネジメントについて

Q （仮称）リサイクルセンター建設に関わる周知や説明会の予定は。

A 事業の進捗状況に伴って、説明会を開催する。

Q （仮称）リサイクルセンター建設にあたって、地元業者への経済波及効果は。

A 発注方法の工夫で、競争を生み出すことや地元業者にお金が回るような方法を研究していく。

Q ペットボトルの戸別収集の予定は。

A 外部委託による戸別収集を平成32年度を目途に進めて行く。

・新庁舎建設について

Q 防災ハザードマップの更新による建設候補地判断の影響は。

A 国分寺市新庁舎建設基本構想（案）でも防災ハザードマップを引用しており、更新後のものと整合性を図る。

Q 建設候補地から最寄駅までの表記を、直線距離でなく徒歩時間に修正すべきとのパブリック・コメントの意見をどう考えるか。

A ご意見を受け止め、掲載方法を検討したい。

Q 新庁舎建設を今の時期に着手しなければならないのか。

A 事業の先延ばしは、現在の庁舎のメンテナンス費用がかかり続けるデメリットもある。スケジュールを確定させ、遅滞なく決定し、建設に向かいたい。



国分寺市清掃センター

補正予算審査特別委員会

【議案の審査】

■議案第7号 平成30年度国分寺市一般会計補正予算（第6号）

Q 第四小学校増築工事に伴う防火設備のサッシ修繕事業の詳細は。

A 建築基準法に基づき、サッシを網入りの強化ガラスに交換する。

Q なぜこの時期での議案提案か。

A 増築工事の設計業務を進める中で、防火設備の施工範囲が明らかになったため。

■議案第8号 平成30年度国分寺市一般会計補正予算（第7号）

○歳入にかかる主な質疑

Q 学校施設環境改善交付金の減額理由は。

A 国の予算の関係で、小中学校特別教室の空調設備工事の補助金が対象外となったため。

Q 東京都の部活動外部指導者配置経費補助事業補助金の増額は、どの中学校に充当されるのか。

A 市内全中学校に充当する。

○歳出にかかる主な質疑

Q 出産・子育て応援ゆりかご・こくぶんじ事業の減額理由は。

A 昨年度より面接率は上がったが、見込件数より少なかったため。

Q 商工振興助成の補助金の減額理由は。

A 商店会の実績報告に基づき、補助金額が確定したため。

Q 西武鉄道国分寺駅のホームドア設置に伴う補助金の減額理由は。

A ホームドアの形式が軽量型になり、事業費が減額となったため。

Q ブロック塀等撤去工事助成の拡充と生け垣設置のPRは。

A 拡充により申込みが増えたことに伴い、国・東京都の補助金が増額された。撤去後、フェンスの希望が多いが、生け垣のPRも続けていく。

■議案第25号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算（第1号）

Q プレミアム付商品券事業で、対象者を抽出した後、引換券を発送するまでの期間はどのくらいか。

A 抽出次第、発送する予定。

Q プレミアム付商品券の取扱店舗数は。

A 前回実施した同様事業の際は、市内650店舗ほど。その数に近づきたい。



国分寺市立第四小学校

施政方針を 問う

平成31年 第1回定例会 代表質問での質問・答弁【要旨】

各党派等を代表して代表質問を行った順番で、質問を行った各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。

未来の市の姿を見据えた市政運営を

1. 安全・安心のまちづくりについて

問 補正予算にてブロック塀等撤去工事の助成制度について上限を撤廃するなど、市民の安全のために早急な対応を図られたことは高く評価している。平成31年度は市民のさらなる安全・安心なまちづくりに向け、どのような取り組みを行っていくのか。

市長 災害対応については積極的に取り組んできた。防災推進地区を初めとして、全国でも模範となるべき自治体としてこれからも進めていく。防災訓練については従来の訓練よりも更に実践的な訓練を進めていきたい。各地域においては、地区防災計画の見直しも行い更に広めていく。

2. 公民連携について

問 これからの時代における社会の姿を自ら想像し、それを実現させるべく市政運営をしていくためには、企業や教育機関の皆様とも手を携えていくことが重要であると考えている。これまでのような取り組みに加え、各種計画策定時に御協力頂くことも必要であると思うが如何か。

市長 民間企業、大学等は市内に限らず非常に多くのノウハウや有形・無形の資産を保有されている。時代を先取りする形で、様々な事に取り組んでいく為には民間のお力が必要である。行政だけではできないものを一緒になって協力し合いながら進めていきたい。

3. 児童虐待について

問 社会全体の宝であり、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるようにするためには、

育児不安の解消と児童虐待予防は非常に重要であると考えている。市の対応をお聞きしたい。

市長 現在、子育て世代包括支援センターの設置で早期に育児不安を解消し、発見・対応できるような仕組みを作っているところである。児童相談所については体制の強化・充実を東京都に要望している。教育機関とも連携しながら、しっかりと対応して参りたい。

4. 快適な学習環境の整備、拡充について

問 平成31年度は熱中症対策として、また災害時の避難場所ともなる学校の体育館への冷風機を設置すること。概要について伺いたい。

市長 小・中学校15校の体育館に3台ずつ冷風機を入れていきたいと考えている。また、第一中学校体育館にエアコンを設置し東京都の補助も勘案しながら、あとの中学校4校の体育館についても計画的に設置に向けて進めていく。

5. 国分寺駅北口のサインについて

問 国分寺駅北口の西街区ビルには国分寺駅を示す看板やサイン等の表示が無い。来訪者に分かるようにサインを設置することはできないか。

市長 確かに北口の広場から駅に入る所にサインが無い状況である。JR、ビルの管理組合の御理解、御協力が必要になる。協議していく。

6. こくベジについて

問 これまで市の魅力発信に多大なる貢献をしてきているこくベジだが、31年度からはJA、商工会、観光協会、市による事業推進協議会を

自民党新政会
田中 政義



設けて継続して取り組みを進めていくとのこと。今後より積極的に関わっていくべきだと思うが、どのようにお考えか。

市長 農業者と商業者が直接関わる事業であり農産物の地産地消に繋がっている。市の農業と農地の果たす役割の重要性を高めていきたい。

問 国分寺の特産品であるウドについて、栽培に必要な助成制度を設けることはできないか。

市長 農業者の方が努力して育てており、名産品となっている。積極的に支援をしていきたい。

7. 道路・交通環境整備について

問 弁天通りと高木通りが交差する西町三丁目交差点は、渋滞の解消と歩行者の安全を早急に図らなければならない交差点であると考えている。整備内容とスケジュールについて伺う。

市長 右折ポケット等を設置し渋滞の解消を図りたいと考える。また歩道の確保の為、平成34年度末の完成を目指して現在進めている。

8. 新庁舎建設について

問 31年度は基本計画の策定を予定しているとのことだが、どのような内容になるのか。

市長 現在分散している行政機能を集約して、行政サービスの中心となると共に災害時の拠点として十分な機能を備え、市民の安全・安心の礎となる庁舎を建設したいと考える。多くの方の御意見を伺いながら更に丁寧に進めたい。

予算規模を見直して収支均衡予算の確立を !!

1. 代表質問は今回が3回目。

2. 予算規模について

○昨年も今年も収支均衡予算にならなかったことは問題ではないか？→31年最大なのはそれだけ要望が多いため。収支均衡は崩れているが最終的には決算ベースでの収支均衡が達成できるようにしたい。

○H29年度に駅の保留床処分金76億円を一般会計に組み入れたが、これは単年度での収入だからこれを戻さないといけないのではないかと考える。事業の見直しが必要ではないか？→事業の見直し、ゼロベースからの見直しはやってきている。

3. 大型事業がいくつかあるが優先順位はあるのか？→これまで国分寺北口再開発、ごみの焼却施設、庁舎の件を解決していくと約束してきた。どちらを優先することもできないが重要課題は解決していく。リサイクルセンターは工事費の縮減をはかっている。

4. 新規事業はどのような経過でやるかが決まったのか？市民の意見はどの程度入っているか？→市民の要望は自分も職員も受けている。いろいろな要望を受け止めてその中でやることをやっていく。

5. SDGsの理念を取り入れた意図は？→「誰一人取り残さない」という考え方で総合ビジョンでもうたわれている。

6. 2月4日の東京都知事との面談について、防災の取り組みの紹介、児相の充実について要

望したようだが他には？→限られた時間の中で要望したが、実務的な話は副知事や局長、部長と随時やっている。

○小金井市のHPには面談の記事が載っていた。国分寺市も載せたら？→研究したい。

7. 子どもの貧困について市はどのような現状や課題をつかんでいるのか？→H30年11月に実施したアンケート調査で実態やニーズを把握しているので分析して対策をたてていく。

8. ダイバーシティの推進について (略)

9. 保育施設の整備について。市は待機児童が増えていることをどのように考えているのか？→大きな要因は保育率が上がってきていること。

10年前は20数%が42.3%まできている。31年度4月に170名の定員増をして今2園計画している。

○来年4月の170名増は30年度の取り組みで31年度の取り組みは100名増だと先日の子ども子育て会議で言っていて驚いた。国分寺市が待機児童解消に力をいれているとはとても思えない。→補正対応も考え今後も努力していく。

10. 保育園の民営化について、少し立ち止まって検証してはいかがか？問題のある保育園もあった。→はっきりした数字は言えないが民営化によるコスト削減は図られてきたと思っているのでこれからも民営化を進めていきたい。

11. 学童保育所の整備計画について (略)

12. 児童虐待について (略)

13. 地域福祉コーディネーターについて (略)

14. 消費税の引き上げを予算は前提としている

国分寺政策市民フォーラム
及川 妙子



か？⇒歳入、歳出ともに増税を組み込んでいる。

15. 障がい者福祉について、障がい者差別解消条例をつくる考えはないか？→研究していく。

16. 3市の可燃ごみの共同処理が来年の4月から本格稼働するのを契機にさらなるごみの減量化、3R(リデュース、リユース、リサイクル)について啓発してもらいたいがいかがか？→当市では多くの市民の協力でごみの減量を進めているのでさらに進めていきたい。

○プラスチックゴミの削減についてはどのように取り組むのか？→今後とも努力を続ける。

17. 西国分寺駅北口周辺まちづくりについて、工事の時期はいつごろを想定しているか？→時期を示すことは難しい。

18. 北の原地域センターについて (略)

19. 人材育成について (略)

20. 新庁舎建設について2案にしばって今年度中に場所を決めるのではなかったのか？→スケジュールを確定した上でいつ決断しなければいけないかも含めて検討している最中。

21. 井澤市政を評価しているが気になる点もある。先日の議員研修会で講師が「市長は当選したら全住民の立場で考える」と言っていた。応援してくれなかった人の立場でも考えて。また普通の市民も市長と話をしたがっているのだから交流して希望があれば市民に会ってほしい。

着実な事業改善で 市民の期待に応える市政を

公明党
木島 たかし



◎地域共生社会の実現に向けて

問) 福祉の総合相談窓口の設置に向けて、相談者や利用者に寄り添った体制の整備を。

市長) 地域福祉コーディネーターの配置などを行い、相談体制を充実していきたい。

◎児童虐待の防止について

問) 子育て世代包括支援センターの設置や政府の緊急総合対策への対応状況は？

市長) 従来から重篤だと思われる状況にはケア体制を整えてきたが、さらに力を入れたい。

教育長) 本市のいじめ虐待防止条例に基づき対応しているが、一層緊張感を持って対応したい。

◎待機児童対策等について

問) 民間保育園誘致等の取り組み・こどもの発達センターつくしんぼの待機状況への対応も

市長) ともしっかりと取り組みたい。

◎病児・病後児保育の拡充について

問) 要望への対応を評価。着実な受け入れを

市長) 国分寺病院が増員の要請を受けていただいた。病児病後児の定員と対象年齢を拡充する。

◎認知症高齢者等のご家族への支援

問) 介護するご家族を守るため、認知症に起因した第三者への損害を補償するための個人賠償責任保険料を市が負担する事業を評価する。

市長) 認知症高齢者等のご家族への支援として積極的に進めていきたい。

◎障がい者福祉・バリアフリーの推進

問) ①移動支援事業のヘルパー不足への対応 ②西武国分寺駅ホームドア整備 ③バリアフリ

ー基本構想の策定

市長) ①報酬時間単価を一定額増額する ②2020年度に整備予定 ③策定を見据え検討する。

◎健康施策のさらなる推進

問) がん検診などの電子申請導入による受診率向上への取り組みを評価。さらなる工夫を。

市長) チラシにQRコードを掲載する等対応する。

◎防災・減災対策のさらなる推進について

問) ブロック塀等の撤去推進と耐震診断の助成を評価。丁寧な対応で進めていただきたい。

市長) 防災を民間や市民の方々のご協力をいただく上で自己負担の軽減のために拡大した。

◎学校体育館への冷暖房設備の整備

問) 災害時には避難所にもなることから整備が重要。設置に向けた取り組みを評価。

市長) 冷風機は公立小中学校全15校に3台ずつ設置する。エアコンについては工事費や躯体の関係もあり、まずは第一中学校に設置したい。

◎特殊詐欺対策の強化について

問) 被害が続いている中、これまでの自動通話録音機の貸与事業に加えて購入への補助を評価

市長) 特殊詐欺対策の機能が装着された電話機を購入された65歳以上の市民に、購入費の2分の1(上限5,000円)の補助を行いたい。

◎ダイバーシティ(多様性)の推進について

問) LGBTへの理解促進に向け制度化検討を評価

市長) 行政書類の性別記載欄を可能な限り削除する方向で検討中。同性パートナーシップ制度も他自治体の動向を見ながら検討したい。

◎国分寺駅北口再開発事業の効果を広く

問) 事業効果が商店街や地域に及ぶこと重要

市長) 商業活性化に向け積極的に応援していく。

◎公園整備のあり方について

問) ①戸倉公園の整備に向けて ②ボール遊びができる公園への取り組みの検討を。

市長) ①都との連携協議が必要だが有効活用を考えていきたい。②今後研究していきたい。

◎ぶんバスの充実について

問) 北町ルート(西国分寺駅まで)延伸を評価。日吉町ルート見直し(内藤地域)も早期実現を

市長) 日吉町ルートは変更し取り組む。

◎ごみの減量・環境への配慮

問) 食品ロス削減に向けてさらなる推進を。

市長) 啓発の取り組みを積極的に行っていく。

◎地域包括連携協定に基づく取り組み

問) コンビニエンスストアへのAED設置を評価

市長) 行政としてできる限りのことを行いたい。

◎未来を見据え財政の健全化を

問) 複式簿記の視点加え「財政の見える化」を

市長) 企業会計の視点やわかりやすさの必要性を感じている。体制を整備して取り組みたい。

◎新庁舎建設への取り組み

問) 庁舎建設基金の再設置等、財政健全化や着実な取り組みを評価。決定に向け丁寧な推進を

市長) 建設に向けてしっかりと進めていきたい。

人権と、子どもの権利がまもられるまちへ！

岩永『誰一人取り残さない』というSDGsの理念を踏まえ、将来にわたって持続可能な市政運営を、市長のリーダーシップを持ってすすめていただきたい。様々な人権を尊重し、高齢者や障害者など誰もが相互につながり、助け合い、自己実現できるまちの実現にむけた、さらなるダイバーシティの推進について詳細を伺う市長行政書類の性別記載欄を削除する。同性パートナーシップ制度についても緊急に検討する岩永性の多様性に配慮した大変重要な取り組みである。全ての人を社会的な孤立や排除から守る「ソーシャル・インクルージョン」の視点で、当事者参画のもと、理解促進をすすめていただきたい岩永保育施設の整備は、児童福祉法の理念に位置付けられた子どもの権利の視点に立った保育の質の向上が重要。障がい児の入所や、特に国立駅周辺の西地域で、家庭的保育室や認証保育所からの入所が難しい問題が生じている。保育所の地域間のバランスも考慮して3歳児枠を見直し、0～2歳の小規模園から認可園への入所がスムーズに行われるよう定員枠を早急に確保すべき。また、国の「3歳児受入等連携支援事業」を活用して連携施設の確保をすすめていただきたい市長国立駅周辺に少ないことは認識している。地域間のバランスも配慮していきたい。連携施設の確保は、有効な手段となるようであれば是非検討してまいりたい岩永妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援については、子育て世代包括支援センターの整備とあわせて、

産後うつや育児不安の解消にもつながる産後ケアの支援体制の構築を市長妊娠期から特に不安定な状況になりやすい産後において、これまで以上に丁寧に対応していきたい岩永児童虐待防止には、保護者支援「親育て・親育ち」の観点も含めた取り組みを要望する。また、いじめや虐待が起こってしまった時に子どものSOSを受け止め解決まで寄り添う公的第三者機関の設置を市長弁護士の対応も考えていかなければならない岩永全小中学校へのサポート教室の設置が完了し、中学校での支援時間が倍増する。子どもの学ぶ権利を保障する意味でも重要な取り組みである。不登校対応も含めて子どものペースで通えるよう柔軟な運用を。あわせて様々な支援を必要とする子どもたちを学校全体で支えるしくみづくりを要望する教育長中学校での支援員配置時間の倍増により、時間や場所の設定も多様な活用が図られ、より柔軟な対応が可能になることで様々な状況の生徒への支援の充実を図る。その他様々なシステム、人材等を活用しながら学校全体で支えられる状況をつくっていききたい岩永プレイステーションの移転について、市民への説明と市民参加、子ども参加の取り組みを丁寧にすすめていただきたい。また、近くに代わりの遊び場の確保は必須市長市有地に移転することで安定的な運営ができるようになることを考えている。移転後のあり方については利用者・事業者の御意見を取り入れながらすすめていきたい。青空ひろばが南側にないことに

国分寺・生活者ネットワーク
岩永 康代



については、場所の確保が大変ではあるが引き続き関係部署と情報共有し検討する岩永国際交流と多文化共生の推進について、オリ・パラボランティア養成講座を受講した市民の方に地域でもご活躍いただきたい。外国にルーツを持つ子どもの支援は、言葉や文化の違いが進学等、将来の進路に大きく関わるため重要教育長外国にルーツを持つ子どもの学習支援を地域で支える取り組みとして、恋ヶ窪公民館で「こいがくば国際教室」を開催する。日本語学習サポーター、地域住民、大学生スタッフがサポートする岩永農地の保全・活用をすすめるために、農地を借りたい人と貸したい人をつなぐしくみづくりを要望する。さらに市民が農と触れ合うことのできる都市農業公園の整備を市長様々なケースを想定しながらマッチングのしくみを考えていかなければならない。農業体験を通じての食育や農福連携等で都市農地を守り、多面的な機能を果たせる農地を残す努力をする岩永東京都では昨年、障害者差別解消条例が施行された。障がいのある人の就労支援や障がい理解の促進にむけ、市民参加で条例の制定を市長国の検討状況や都の条例の運用状況を注視する岩永市民の健康を守るために、女性だけでなく、前立腺がんなど男性特有の病気やがんの検診にも取り組むべき市長医師会とも相談してすすめてまいりたい。

市民を支える政治・学校体育館にエアコンを

【国民健康保険（国保）税を値上げするな】
 国保の加入世帯は20668世帯、そのうち所得0円が6385世帯、0～100万円未満が4392世帯。一月の収入が14万円未満の世帯が52%を占めている。アベノミクスによって格差の拡大が急速に広がり、この格差の是正が緊急の課題。所得に応じて税金を徴収し、医療や介護など社会保障サービスの提供によって貧困者を救い、生活を安定させることが、社会保障制度が果たすべき所得再分配機能で、国保は社会保障制度の一つ。
 市は、福祉的要素から、国保に独自補助（法定外繰入）を行ってきたが、この補助をなくして、国保税を値上げする井澤市長の計画。今年から3年に一度、7回もの値上げで約8億円を

国保加入者に押し付けようとしている。一方で財源はある。補助が14億円だった2017年度と比べて、加入者の減などで19年度の補助は8億円。市税収入は17年度よりも7億円以上も増えていることから国保税を値上げせず、補助を1億円増やすことは十分に可能。問題は低所得者のくらしを支える政策判断の優先度が、井澤市長のもとで低くなっていること。
 日本共産党は、国保税を引き下げのため、人頭税とも言われる均等割（一人につき4万円～5万4千円）を国の責任で廃止すべきと提案。井澤市長には、国保税を値上げしない程度の補助を継続すること。また、生まれたての赤ちゃんにも4万円課税されることから、子育て支援として子どもの均等割軽減を求める。

無会派（日本共産党国分寺市議団）
 中山 とう



【すべての小・中学校体育館にエアコンを】
 井澤市長は、今後3年間で中学校体育館にエアコンを設置する方針を表明したが、小学校には冷風扇の設置しか検討していない。東京都が全ての公立学校体育館にエアコンを設置できる補助を3年間実施する。子どもの熱中症対策、災害時の避難所としての機能強化のために、小学校の体育館にも、東京都が補助する3年のうちに設置することを求める。
 その他、取得した戸倉公園部分の早急な開放、認可保育所と学童保育所の増設、シルバーパスのふんバス適用、緑地の保全を求めた。

大型公共事業を庁舎と同時平行で進めるな！

甲斐) 市民税が7億増収と見込めているにも関わらず、財政調整基金から4億切り崩さざるをえず、収支均衡型予算を達成できなかった。今後、国分寺は『3市、可燃ごみ共同焼却施設』『リサイクルセンター』『都市計画道3・4・12号線』『新庁舎建設』と公共事業を同時平行的に取り組もうとしている。『公共施設総合管理計画』による公共施設の修繕補修も当面先

送りできるものは先送りだ。これら公共事業の起債(借金)額は北口再開発のピーク147億を超える。将来の財政硬直化を招き次世代の負担。市長) ごみの焼却施設から庁舎についても後の世代に負担を先送りするという意味合いだけでなく後の世代の方々も享受する部分があるからそういう意味で起債という意義はある。
大規模 都市公園に保育園を暫定整備すべき！

無会派(無所属)
 甲斐 よしと



30年に2園整備予定が、土地を見出せず1園だ。国分寺は30年待機児童急増、都内1位だ。都内の市区のよう都市公園に保育園を暫定整備すべき。市長) 武蔵野市の例をとると公園を守りたい方の御意見もあり、ハードルが高いと感じる。

こどもの幸せがまちの未来をつくる！

幸野) ●この4年間★保育園、つくしんぼの待機児童対策★幼稚園等との連携★学童保育所の狭あい改善・高学年の受け入れ★小学校の教室・校庭不足への対応★公園、冒険遊び場プレステ、児童館、放課後子どもプランの充実にも全力で取り組んできた。しかし根本的な解決には至っていない。●最大の原因は市が「人口減少」「少子化」「財政難」を強調していることだ。

市長) 人口は自然に増えている訳ではない。また人口増で歳出圧力が増加し、財政は厳しい×
 幸野) ●子育て・教育・福祉・身近なまちづくりには「財政難」を言う一方で●新庁舎建設やリサイクルセンターの事業費増加を抑制する姿勢が見えない。オリ・パラ需要で工事費が異常に増加しており、大型事業は延期すべきだ。
 市長) リサイクルセンターは先が決定している。

無会派(ここに幸あれ)
 幸野 おさむ



新庁舎は本格設計・調査していく必要ある×
 幸野) ●★都市農地を守る事とともに★公共施設用地として確保する事★農地の居場所づくりや★こくベジ農業公園として活用の検討を。
 市長) 財政状況を勘案すると厳しい状況だ。▲

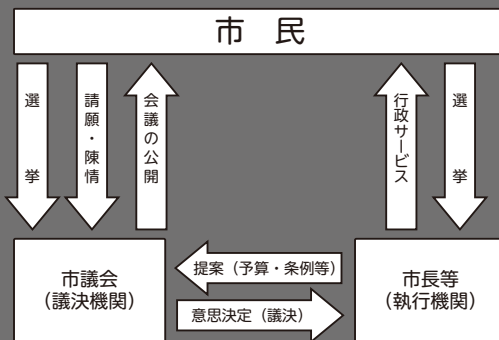
シリーズ 国分寺市議会⑨

市議会のしくみと役割は

市議会は、市長等から提案される予算や条例等を市民全体の代表として、幅広い視点から十分に審議し、最終的な意思決定をする機関（議決機関）です。
 また、市民などからの要望や意見を請願・陳情として受け付けし、市議会の内部組織である委員会では主な審査を行い、その趣旨が妥当と認められた場合は本会議で採択をしています。その審議結果を市長その他の関係機関（執行機関）に送付し、市政に反映されるように努めています。
 市長は執行機関の長として、市議会は議決機関として、それぞれ独立し、また対等な立場で互いに尊重し、議論しながら住民の福祉増進のために適切で公正な行政運営を図っています。
 今年、国分寺市議会は、改選の年にあたり、4月21日（日）に市議会議員選挙が行

われます。
 この選挙では、議員定数が2人削減され、22人となりますが、執行機関に対するチェック機能の向上や、政策立案能力の強化などの質の向上につなげられるよう、引き続き各議員が努力していく必要があります。

市議会のしくみと役割(イメージ)



「日曜議会」を開催

平成31年第1回定例会初日の2月22日（金）に、市長から施政方針が発表され、施政方針に対する各会派等からの代表質問を2月24日（日）に行いました。当日は26人が来場し、議会を傍聴されました。



予算議案を 問う

一般会計予算議案に対する討論(要旨)

3月25日の本会議で平成31年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各党派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。討論を行った順番で、各党派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。

賛成

未来と今必要な事業を織り交ぜた予算を評価

平成31年度予算は一般会計461億2,510万6,000円、特別会計の6会計で268億3,491万9,000円、全会計総額728億2,982万1,000円となりました。国分寺駅北口再開発ビルの保留床処分に伴う歳入が135億円計上された平成29年度より縮小されたとはいえ過去2番目の規模の予算です。また、これまでと同様に歳入歳出ともにゼロベースから見直して予算編成をされたことは評価します。しかし、ふるさと納税の影響による財源の流出、大幅な交付金収入の減が財政を圧迫しています。人口は増加、就労人口が伸びつつも、高齢化の波、子供たちも増えたことから、子育て支援施策に伴う扶助費の増加など、長期的には、厳しい状況は続く事が想定されます。今後も財政健全化をはかる財政運営をお願いします。今後、公共施設の整備、新庁舎建設、仮称リサイクルセンターの建設、社会保障費の増大等、大きな財政需要があることは明らかです。今予算は、財政調整基金を一部取り崩しての予算編成となりましたが、今後の事も踏まえ基金取り崩しが経常化することがないように求めます。

節目の年、平成31年は新元号となる年です。そして、市制施行55周年の年であり、友好都市である飯山市においては65周年にあたり節目の年として「市制施行55周年記念企画展」を飯山市を代表する人形作家の記念展覧会「高橋まゆみ人形展」が開催されます。今後の友好都市の理解とさらなる交流の促進に貢献するでしょう。また、中央線開業及びJR国分寺駅開業130周年を記念し

た連携イベントはまちの賑わいに貢献し国分寺の魅力発信に繋がるものと期待します。

政策的経費を見ますと速やかに対応を求められた事業が見られます。夏の猛暑対策として行う小・中学校体育館への空調設備、冷房設備の設置や教育ICT環境整備、高齢・障害・子育て・生活困窮などの複合的な課題に対応するための地域力強化と多機関連携による包括的支援体制を構築する事業、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画策定事業、介護人材確保・育成事業、はいかい高齢者個人賠償責任保険事業など子供と高齢者に手厚い予算であります。特に小・中学校体育館への空調・冷房設備設置に関しては近年の夏の猛暑を考えますと熱中症対策として必要な事業あり、高く評価いたします。しかしながら同様の整備事業の前例が見られないことから先進的取り組みとなり、今後の中学校体育館の空調設備整備が二重投資にならないよう、効果測定はしっかりと検証するべきです。

国分寺市ビジョンに関する予算として妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制の構築として子育て世代包括支援センター事業など子育て、教育環境の整備事業であり評価します。

地域振興では東京2020大会及びラグビーワールドカップを盛り上げるためのスポーツ体験イベント等の実施、ベトナム関係者との交流を進めるオリンピック・パラリンピック推進事業、けやき運動場人工芝化及びバリアフリー化改修工事など必要事業であります。

自民党新政会 (賛成8名)

丸山 哲平 吉田りゅうじ
尾作 義明 田中 政義
本橋たくみ 新海 栄一
尾澤しゅう 須崎 宏



尾作 義明

「こくベジプロジェクト」は農業、商業、観光の各施策として、地域振興に欠くことの出来ない事業に成長しています。今後も期待します。

保健・福祉では認知症対応型共同生活介護、地域密着型サービス拠点施設等整備補助事業、家計改善支援事業では生活保護に至る前の段階にある生活困窮者のうち家計に課題を抱える相談者を支援するものであり進めるべき事業です。

くらし・環境ではクラウドファンディングによる国分寺駅北口交通広場整備、北口地下自転車駐車場整備は予定通り進行することを望みます。また、西国分寺駅北口地区周辺まちづくり推進事業は地域の方々の期待が強く、また広まっています。地域の声を生かし、未来に繋がる計画の策定に期待します。

防災防犯については地域活性化包括連携協定によるコンビニエンスストアへのAEDの設置、ブロック塀の耐震診断助成事業、特殊詐欺対策電話機購入費補助など市民生活に寄り添った安心・安全のまちづくりであると評価いたします。

公共経営では国分寺市新庁舎整備基本計画策定事業が挙げられます。市民の生命、財産を守る拠点としての新庁舎建設はとても重要な事業です。丁寧に着実に進めることを望みます。

個々の事業は未来に繋がる事業であり評価し、その必要性を認め賛成といたします。

賛成

反対

「ありき」ではなく、市民目線の政治を！

「誰一人取り残さない！」SDGs 予算について。予算規模は前年比11億6912万円増の461億2510万6千円となり、財政調整基金(貯金)を4億3811万8千円取り崩すこととなった。福祉や保育所整備などによる歳出の増加は致し方ないものと考え、収支均衡を目指し、必要な分野にはしっかりとお金がまわっていくメリハリのある財政運営を追求することを強く求める。来年度予算案は国連のSDGsの考え方を取り込んだ編成方針のもと、その理念に沿った施策展開が随所に見られた。特にLGBTなどの性的マイノリティに対する取組みは教育分野も含めて、評価をするところである。

学校体育館のエアコン設置について。昨年の酷暑をうけ、来年度の第1中学校を皮切りに、5つの中学校には順次設置をしていくとの表明が行われた。また、小中学校とスポーツセンターなどの施設に冷風機の設置を予算化したことはその迅速な対応を大きく評価する。エアコンについては1中での効果測定を十分にしたうえで、残りの4校も可能な限り速やかな設置を求める。また、小学校体育館へのエアコン設置も、体育館の構造上の問題など課題は多くあるが、防災上の観点からも検討を進めて頂きたい。

子育て施策について。保育所増設への市の努力は認めるところであるが、今年度の都内ワーストの待機児増加率という状況を謙虚に受け止め、待機児解消に向け、更なる努力を。併せて学童の増設、ニーズの高い高学年の受入れへの

検討、在宅育児者への一時保育等の支援、虐待撲滅への取組みも更なる充実を求める。

もとまち保育園民営化については、当会派の及川議員から保護者への説明が遅れたことによる影響について厳しく指摘がなされた。来年度予定されている、しんまち保育園民営化に際しては、もとまち保育園を巡る一連の混乱を教訓に、議会や市民への早期の説明と、民営化のメリットが活かされる進め方を強く求める。計画の遅滞ない履行ということにこだわらず、「安心して子育てし、働き続けることのできる街づくり」との視点を第一に考えることを要望する。

高齢者、障がい者施策について。認知症対策として、はいかい高齢者個人賠償責任保険事業の開始は他市に先駆けての取組みとして評価をする。利用がないことが一番であるが、イザという時に家族の負担を和らげるためには重要な取組みであり、国分寺市から波及していくことを期待する。また、障がい者の移動支援について、ヘルパーの報酬単価引き上げが行われることも障害をお持ちの方が自分らしく生活していくための前向きな内容と捉えている。移動支援についてはまだ課題・要望が多くある。引き続き当事者の皆さんと協議をし、更なる改善を求める。道路関係事業について。西町3丁目交差点の改良工事が前進し、渋滞の解消、歩行環境の改善が図られることは大きく評価する。できる限りの工期短縮への努力を求める。

職員育成について。人材育成基本方針は新たな

国分寺政策市民フォーラム (賛成3名) (反対1名)

及川 妙子 星いつろう
だて 淳一郎
皆川りうこ



だて 淳一郎

時代の市職員として求められる資質について謳われている内容であり、積極的に議会や市民、そしてこれから国分寺市の職員を目指す若い方々に示していくべきものである。また、この4月から施行される改正入管法により、外国人の定住者が増加することが見込まれる。本市においても、国際化の進展に対応した窓口等の業務、語学スキルの向上など、職員に必要な素養は増えていく。そういった観点からも、年齢問わず、人材育成の全庁的な取組みが更に必要であり、対応を求める。

庁舎建設について。庁舎の建て替えの必要性は認めるところであるが、大事な観点は「ありき」で進める事が無いようにという事である。大きなテーマのため、リーダーシップをもって決めていかないと前進しない事は承知している。しかし、それが行き過ぎれば市民不在となる。自治基本条例の精神に基づき、できる限り多くの市民に寄り添った形で進めるべきであり、決断に際しては市長自らが市民に説明し、意見を伺うという場面も必要になると考える。「結論ありき」ではなく市民目線での検討が必要だ。まもなく平成が終わり、新しい時代が到来する。これを一つの契機に国分寺市も様々な面で次のステージに上がっていきけるように引き続きの努力を期待し、賛成の討論とする。

賛成

命を護る施策の充実と持続可能な財政運営を

平成31年度は一般会計461億、特別会計含む全会計総額728億円という予算規模。これまでと同様にゼロベースから見直して予算編成されたことは評価する。しかし、昨年からの地方消費税の清算基準の見直しに伴う影響やふるさと納税による税源流出等から財政調整基金を取り崩し、収支均衡型予算とならなかったことは今後の財政運営にとって不安を抱かせるものである。人口増加は続いているが、少子高齢化の波は国分寺市にも寄せてきており、高齢化率の上昇、子育て支援施策である民設民営保育所整備・学童保育所の新設など扶助費が増加していることは今後の財政にとって厳しい状況となると言わざるをえない。基金残高は着実な積み立てにより100億円を超える規模となったが、今後見込まれる新庁舎建設やリサイクルセンター建設、公共施設の維持・更新等の大きな財政需要から考えると決して余裕のある財政とは言えない。基金の取り崩しが常態化しないこと、将来にわたる負担を意識しながら更なる財政の健全化、持続可能な財政運営を行っていくことを強く求める。そのうえで、市債の未償還額が大幅に減少していることは評価したい。

《将来にわたる安全・安心のまちづくり》

防災・減災はいまや政治の中心にある。「ブロック塀等の撤去工事の助成制度」の更なる制度拡充の「耐震診断助成」は大いに評価したい。災害時の備蓄として「液体ミルク」が販売開始となった。まずは自治体が一定量を備蓄してい

くべきであり、再度ご検討願いたい。地域活性化包括連携協定による「コンビニエンスストアへのAED設置」がやっと実現の運びとなった。まずは5店舗から開始だが、市民の安心のためにも全店設置への取り組みを期待したい。また、依然として多発している特殊詐欺被害防止のための「自動通話録音機能を装備した電話機の購入費の一部を補助する制度」は評価する。従来の施策と合わせ、国分寺から特殊詐欺被害を無くしていくためにも必要な施策のため、速やかに市民に対して周知願いたい。

《命をまもるために》

昨今、児童虐待事件があとをたたない。孤立した子育てが虐待につながらないような施策が必要。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をする「子育て世代包括支援センター事業」が7月に開始。日本版ネウボラとゆりかご・こくぶんじ事業との連携により、妊産婦や乳幼児の実情を早期把握することが育児不安の解消と児童虐待予防につながることを期待したい。また、いじめ・虐待防止ツールとしてのSNSの活用が一定の効果があるとのこと。これも視野に入れていくべきである。「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」をもつ市だからこそ子どもたちが健やかに育つ環境作りにご努力願いたい。

《子育て環境の充実》

子育て世代の増加に伴い、子育て環境の充実は欠かせない。待機児童問題や学童保育所の整備はまだまだ積極的に取り組まなければならない

公明党
(賛成3名)
さの久美子 木島たかし
高橋りょう子



さの 久美子

事項であり、市が真摯に取り組んでいることは評価したい。引き続き、民設民営保育所・学童保育所の整備を求めたい。10月開始の病児・病後児保育の拡充は大いに評価できる内容である。児童・生徒を取り巻く教育環境整備の一つに昨今の猛暑への熱中症対策、また災害時避難所となる「小中学校体育館への冷暖房設備の整備」について公明党は市長へ要望書を提出。平成31年度は小中学校15校へ1校3台の冷風機の設置、第1中学校へのエアコン設置と中学校全校への設置計画策定の取り組みは評価したい。今年の夏からの早期対応は喜ばしいことである。

《認知症施策について》

介護する家族の不安や負担を解消するため、認知症に起因した第三者への損害を補償する個人賠償責任保険に市が加入する事業は大いに評価したい。丁寧な周知と認知症サポーター養成講座の拡充で住み慣れたまちですっと安心して暮らしていける環境づくりへの努力を願いたい。

《移動支援事業について》

これまでも対応を求めてきたが、障がい者の移動支援事業におけるヘルパーの最初の2時間の報酬単価の増額を大いに評価、効果を期待する。以上、人を大事にし、市民が将来にわたり安心して暮らせるように持続可能な財政運営を行うことを求め、公明党の賛成討論とする。

賛成

様々な事業を通して地域共生社会の実現を！

◆市の人口は、大型マンションや農地の宅地化等により前年と比較し2016人増え、平成31年1月1日現在123,689人。子どもの人数、働く若い世帯が増え、保育所や学童保育所、学校施設の整備は進めてはいるもののまだまだ不足している。人口推計を見直すに当たっては、人口動態や大型開発の可能性も探りながら実態にあった推計をし、実態に則した施策の展開を求める。◆平成31年度一般会計予算は、前年度比11億6,912万円増の461億2510万6千円と財政規模が大きくなる一方、財源不足のため、4億3,811万8千円の財政調整基金の取り崩しを行う内容となった。財政フレームでは、ふるさと納税による税源の流出額を3億4千万円と推計しているが、制度が変わらない限り市税への厳しい影響が続く。国への継続した改善申し入れを求める。◆10月に消費税率の引き上げや幼児教育無償化が予定されている。市財政への影響と共に、低所得者の生活への影響を全庁的に把握することを強く求める◆(仮)リサイクルセンターや新庁舎の建設など、多額の予算を必要とする事業が計画されている。また、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり社会保障費が膨らむと予想されるが、認知症の方は介護度が低く出る傾向があるため、生活の実態調査、ニーズ把握を行い、次期高齢者計画に反映させることを求める。さらに平成32年度からの会計年度任用職員制度に関しては、働きやすい環境、労働に見合った適正な処遇改善が必要だ。大きな事業が

進む時だけに、何を優先し予算をつけていくのかは、正確な情報提供のもと、できる限りの市民合意を高め検討することを求める◆12月からは、燃やせるごみの共同処理に向けた試行運転が始まる。日野市までの搬入距離が伸びるため、新たな車両の購入費、人件費が増額になっているが、この機会に更なるごみの減量を市民、事業者と協働して進めるよう求める◆夏の暑さ対策は重要だ。第一中学校体育館に10台のエアコンをリースで設置する予算が計上されたが、断熱工事は行われぬ。締め切った体育館で果たしてどの程度の効果が得られるのか、しっかりと検証した上で各学校への対策を講じるよう求める。また、全小中学校に冷風機を各3台ずつ購入するが、冷風機による効果の検証も要望する。いずれにしても災害時には体育館が防災拠点になることから電源の確保は重要。太陽光パネルの技術は進んでいる。設置に向けた調査、検討を求める◆5年にわたる用水路現況調査の報告がまとまっている。今年度、市民参加で用水の保全、活用、親水化について検討することを求める。また、国分寺の特徴を活かした「農」を発信する農業公園構想を持ち、さらにはこれまで提案してきた農福連携についても国分寺ならではの方法で進められることに期待する。◆しんまち保育園民営化に当たっては、新基準での認可申請により定員数が減る可能性があるが、市の西側地域では3歳児枠の空きがなく、しんまち保育園が唯一3歳児の受け入れ可能な

国分寺・生活者ネットワーク
(賛成3名)
高瀬かおる 岩永 康代
秋本あすか



高瀬 かおる

園となっている。特に待機児童の多い、012歳の定員数確保と3歳児のつなぎ入所、さらに障がい児の受け入れ体制について、課題の整理と課題解決に向けた取り組みを示すよう求める。◆学童保育所について、高齢者や障がい者施設との複合的な整備を提案。また、夏休みなど長期休暇期間中、定員枠に余裕のある学童保育所で、特に要望の多い4年生を受け入れる柔軟な運用を求める◆市民参加と協働を進めるために、誰もが参画できる環境整備が重要。託児や手話通訳、介助サポート、日本語通訳など全庁的な方針をもち対応することを求める◆新たに地域福祉コーディネーターを2名配置し、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築するということだ。また、妊娠期から子育て期における包括的かつ切れ目のない支援を提供する体制を構築するため「子育て世代包括支援センター事業」が始まる。これまでにも世帯丸ごと支援する必要性から、様々な役割を持つ多くのコーディネーターや機能を整備してきた。そのことには大いに期待するが、連携する人や機関が増えれば増えるほど、ともすれば役割や責任が曖昧になるのではないかと懸念する。連携のあり方を十分に明確にし、様々な支援をつなぎ地域資源を見出すコーディネーターが活動しやすい会議体や体制を整えることを求める。

反対 庁舎建設を急いで進めるべきではない！

国分寺市は約20年前、市債残高(借金)が市民一人あたり多摩26市中ワースト1位で新聞にも「多摩の借金王」と報道された。下水道の借金、北口再開発のために、約20年間国分寺はお金が無いから…と市民に我慢を強いてきた、学校にも。現在、北口再開発が完了し、保留床処分金が返ってきた事により、市民一人あたりの基金(貯金)は26市中上位の4位までになったのに、

未だに「財政が厳しい」と答弁しているのは公共事業を同時併行に進めようとしているからに他ならない。3市共同可燃ゴミ焼却施設建設に残り56億支払う。リサイクルセンター計画は現在推計72億。都市計画道3・4・12号線、公共施設総合管理計画による公共施設の改修・再編、下水道管の改修等々が予期される中、西国分寺都有地移設なら138億、補助金が出ない庁舎建

無党派(無所属)
(反対1名)
甲斐よしと



甲斐 よしと

設を急ぎ進めるべきではない。国分寺こそ『コンクリートから人へ』の将来計画にし、保育園や高齢者福祉を始めとする福祉、子どもへシフトすべき。景況先行き不安の中、再び国分寺は財政が厳しくお金が無いという弁は許されない。

反対 国分寺市政を、事実と現実に基づいた市政へ

幸野) ★来年度の予算編成で、何よりも不可欠なのは、現在の国分寺市で起きている事実や現実に基づいた予算にする事だ。しかし、市長をはじめとする行政機関は、国分寺市で起きている事実や現実よりも、自らが取り組みたい政策を優先してしまっている。が故に、現場で起きている様々な矛盾を根本的に解決する政策・予算案にはなっていない。★特に国分寺市の人口

推計・人口ビジョンの矛盾について、これまでも何度も指摘をしてきたが、実際の人口や児童数は増加の一途を辿っているにもかかわらず、相変わらず「人口減少」「少子化」を前提とした予算編成になっている。★また市の財政状況については、市民への度重なる税負担と我慢を強いたことによって、積立金が120億円を超え、着実に健全化している。にも関わらず、未

無党派(ここに幸あれ)
(反対1名)
幸野おさむ



幸野 おさむ

だに「依然として財政が厳しい」等と強調し、子育て支援や教育費、身近なバリアフリー予算といった超重要政策に対する緊縮・抑制政策を取り続けている。★事実と現実を直視せずに、トップダウンで編成された予算案には反対する。

※無党派(日本共産党国分寺市議団)からは原稿の入稿がなかったため掲載しておりません。

平成31年 第1回定例会 陳情の審議結果について

陳情番号	件名	付託先委員会	結果
陳情 第29-2号	西国分寺駅東口開設を求める陳情	建設環境委員会	審議終了
陳情 第29-3号	新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情	公共施設等 総合管理特別委員会	審議終了
陳情 第29-6号	西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情	建設環境委員会	審議終了
陳情 第30-2号	同性パートナーシップの公的承認に関する陳情	総務委員会	採択
陳情 第30-4号	恋ヶ窪公民館にエレベーターの早期設置を求める陳情	文教子ども委員会	採択
陳情 第30-5号	通学において移動支援を利用できるようにすることを求める陳情	厚生委員会	継続
陳情 第30-6号	国3・2・8号線(新府中街道)の総合的安全対策に関する陳情	建設環境委員会	継続

次回の定例会 開催予定について

どなたでも傍聴できます

第2回定例会は、

6月10日

(月) 開会予定です。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

インターネット 動画配信について

どなたでも視聴できます

平成31年第1回定例会の本会議で行われた代表質問、議案審議は5月31日(金)まで、予算特別委員会は一定期間、市議会ホームページからご覧になれます。

また、次回第2回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。

請願・陳情の 提出について

どなたでも提出できます

市民の皆様の行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、第2回定例会(6月10日(月)開会予定)からの審議を希望する方は、**5月21日(火)**までに直接議会事務局へお持ちください。

本会議録・委員会 記録について

どなたでも閲覧できます

平成31年第1回定例会の本会議録(全文掲載)は、**6月1日(土)**より市議会ホームページで閲覧できます。

また、本会議録は平成元年、委員会記録は平成17年以降の記録から閲覧できます。

上記の詳細は、次の方法で知ることができます。

● 国分寺市議会ホームページ

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shigikai>

国分寺市議会

検索

● QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセス



市議会ホームページ



動画配信ページ

● 議会事務局への問い合わせ ☎(042)325-0111 (代表)

【定例会・委員会について、インターネット動画配信について(議事担当)内線468】 【請願・陳情について(調査担当)内線581】

第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には新規25件(市長提出25件)の議案が提出され、継続中の1件と併せ計26件は、同意1件、可決25件となりました。

Table with 5 columns: 議案番号等, 議案名等, 議案等の要旨, 付託先委員会, 結果. It lists 26 items with their respective details and outcomes.

国分寺駅=国分寺駅周辺整備特別、補正予算=補正予算審査特別、予算=予算特別、--=本会議即決

*この表記は、議案の議決時点のもので議案に掲載されている表記です。

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの)

Table showing voting status for 15 items across various political parties and members. Columns include party names and individual member names with voting symbols (O for赞成, ● for反対, 退 for退席).

・表決 (○=賛成 ●=反対 退=退席)

・党派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、共産党=無党派(日本共産党国分寺市議団)、幸=無党派(ここに幸あれ)、(無)=無党派(無所属)、無=無党派)